

RC報告書2017

Responsible Care Report 2017





きれいな環境

人と自然の未来のために



2016年年末に気候変動枠組条約第22回締約国会議(COP22)が開催されました。21世紀末までに温室効果ガスの排出をゼロにすることを世界が約束した「パリ協定」が発効して初めての国際交渉の場であるこの会議において、日本もパリ協定のルール作りを積極的に推進していく事を表明しました。また改正FIT法^{※1}の施行により日本国内の再生エネルギー導入は更に加速していくことが予想されます。廃棄物適正処理を中心に事業を展開してきた当社におきましては、これまで蓄積してきた環境関連の経験、ノウハウを活かした廃棄物有効活用による再生エネルギー分野への展開等、循環型社会の形成に向け貢献できる可能性が広がってくるものと期待しています。

2016年度、当社は主力の産業廃棄物処理においては、川崎物流センターの積替保管許可品目の追加(低濃度PCB)と積替保管施設の有効活用、及び事業提携先との関係強化に務めました。廃棄物適正処理事業に加え、廃棄物有効活用の切り口からの再生エネルギーやリサイクル分野への新たな事業展開の準備を開始しました。環境エンジニアリング事業は、当社の強みをより生かすべく、水質改善による水道管の長寿命化提案及び独自の活性炭吸着技術を駆使した溶剤回収・脱臭・排ガス処理事業へ注力する方向性を明確にしました。また、ISO9001(品質)の取得により従来のISO14001(環境)との統合マネジメントシステムを導入するとともにICT^{※2}を活用した社内インフラの構築を進めました。

社長就任以来、私はS(差別化)、K(顧客視点)、K(こだわり)を当社の共通の価値観として、SKKに根差した企業風土を醸成しようと申し上げてきました。この意識を高め、徹底し、行動規範まで高めていくことにより、はじめてステークホルダーの皆様からS(さすが) K(クレハ) K(環境)と言っていただけるのだと思います。

今後とも事業展開の基盤となる安全・安心・信頼をベースに、当社の一人一人が挑戦する意欲をもち、社会から認められ、求められる企業を目指して取り組んでまいります。

※1. 電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法

※2. 情報処理や通信に関する技術、産業、設備、サービスなどの総称

人と自然の 未来のために

代表取締役社長

名 武 克 泰

目次

Top Message		生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	19
事業の概要	4	環境負荷低減のために	20
事業活動に係る環境配慮	5	微量&低濃度PCB廃棄物処理	21
各種資源投入量&廃棄物処理量&温室効果ガス他の排出量		安全衛生活動	22
全社合計編	6	ウェステックいわきの紹介	24
ウェステックいわき編	8	ウェステックかながわの紹介	25
ウェステックかながわ編	12	環境エンジニアリング事業	26
環境配慮経営の経済的側面	16	さまざまな取り組み	28
環境に関する規制等の順守状況	17	RC活動を支える351人	30
ステークホルダーへの対応状況	18	沿革・営業に関するお問い合わせ	34

レスポンシブル・ケア(RC)とは…

化学物質を製造または取り扱う事業者が自己決定・自己責任の原則に基づき、化学物質の開発から、製造、流通、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全ライフサイクルにわたって「環境・安全・健康」を確保する改善活動を継続的にを行い、社会との対話・コミュニケーションを行うことです。

クレハグループは1995年にRC活動の実施を社会に対して宣言しました。

本報告書はクレハ環境のRC活動をステークホルダーの皆様にご報告するために発行しました。

■参考にしたガイドライン 『環境報告書ガイドライン2012年度版』
『環境報告書の記載事項等の手引き(第3版)』 …以上、環境省

■対象期間 2016年4月1日～2017年3月31日
一部2017年度内および今後の予定を含みます。

■対象範囲 (株)クレハ環境全部署

■免責事項 本報告書には、発行時点における計画または将来予測が含まれています。この将来予測については諸条件の変化により異なったものとなる可能性があります。また、記載の表やグラフの数値は算出方法の見直し等により、一部過年度データを修正している項目があります。皆様にはご了解いただきますようお願いいたします。

レスポンシブル・ケア方針

(クレハグループ方針)

- 1 国際規則や法令を守ります
- 2 地球環境に配慮し、安全な操業をします
- 3 安全な製品を社会に提供します
- 4 環境・安全の情報を管理し、役立てます
- 5 社会とのより良い関係を築きます



クレハ環境の企業理念

- ❶ 人と社会そして地球環境との調和を大切にする会社をめざして、たゆまぬ努力を続けます。
- ❷ 安全なサービスと商品を提供し、住みよい豊かな社会づくりに貢献します。
- ❸ 地域に根ざした会社として、地域と共に発展し続けます。
- ❹ 法令および社会的規範を遵守し、オープンな企業活動を通じて、社会から信頼される誠実な企業市民をめざします。
- ❺ 社員一人一人が互いの人格、個性を尊重し、創造力とチームワークを最大限に高め、魅力あふれる企業風土をつくります。
- ❻ 時代の流れを先取りした技術の研究と開発に、情熱を持って取り組みます。

マネジメントシステム基本方針

考え方/目標/目的

法令・規則・自主基準を順守し、統合マネジメントシステムによる品質・環境・労働安全衛生に関わる諸活動を通じ、地域および事業を取り巻くステークホルダーの信頼を深め、企業価値の向上に努める。

活動方針

- 提供する製品・サービスの品質を向上させ、顧客満足度アップを目指す。
- 環境事業の経験を活かし、環境保護に努める。
- 活発な安全衛生活動を通じてより安心安全な職場造りを行う。

事業の概要

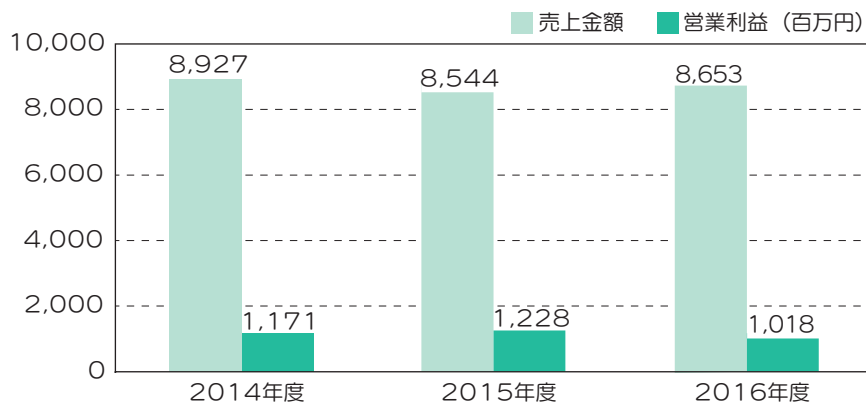
会社概要

商 号	株式会社クレハ環境
本 社 所 在 地	〒974-8232 福島県いわき市錦町四反田30番地
主 な 事 業 所	本社、ウェステックいわき、ウェステックかながわ
設 立	1971年12月1日
資 本 金	2億4000万円
従 業 員 数	351名(2017年3月末)

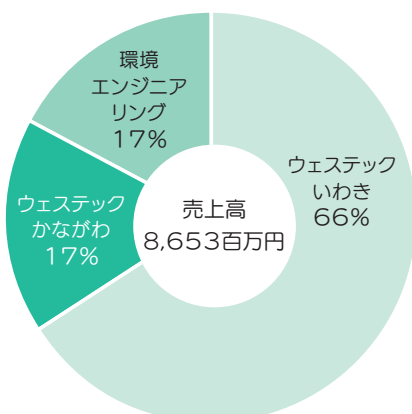
事業概要及び業績

主 要 な 事 業	産業廃棄物の収集運搬・処分、 建設業(環境エンジニアリング)、発電事業他
-----------	---

売上高・利益実績推移



部門別売上構成比 (2016年度)



これからもクレハ環境は環境改善・社会貢献・ガバナンスのそれぞれの面での努力を惜まず、模範となるESG企業を目指して必要な改革を進めてまいります！

経営企画本部
 経営企画部長 谷口 武士(写真左)
 調達部長 坂本 裕二(写真右)

事業活動に係る環境配慮

環境マネジメントシステム(EMS)の構築及び運用状況

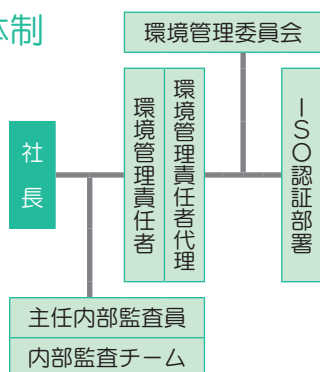
当社は、ISO14001：2004年版を、2017年3月24日付けで対象を全社に拡大しISO14001：2015年版へ更新しました。

環境管理委員会は1か月に1回、環境活動の進捗把握を目的として開催しました。また、その前段の会議として、議論をする場、進捗の詳細な確認の場として1週間に1回、環境影響検討会を開催しました。

2016年度 ISO14001の環境目標

環 境 目 標	目 標 値	結 果	説 明
地域社会とのコミュニケーションの充実及び質の向上	年20回以上	達成	コミュニケーション・ステークホルダー対応として、昨年度に引き続き継続実施です。
地域美化活動の実施及び質の向上	年10回以上		
環境啓発活動を5回／年実施	5回／年	達成	社内報等を利用した環境教育です。
RC報告書2016の作成	日本語版・英語版 それぞれ1回／年	達成	日本語版、英語版の「RC報告書2016」を発行します。
環境影響評価点を1点以上低減	1点以上低減	達成及び維持継続	ウェステック事業部では、環境影響評価を1点以上、下げることが目標としています。そのため、具体的項目として「手順の見直し」等を行います。
廃棄物引取り時に於ける交通事故や設備の不備・荷姿不備による廃棄物の飛散・漏洩事故を防止	漏洩事故0件	達成	教育や訓練を実施し漏洩事故0件を目指します。
既納環境装置の安定運転	—	達成	ISO14001登録範囲外の環境技術課の環境目標です。定期検査時の性能維持として、具体的な項目では回数で目標値を設定しています。
ウェステックいわきシリコン廃油臭気低減	—	達成	ウェステックいわきの設備サポートとして、設定しています。
排出事業者への啓発活動	1回／年	達成	昨年に引き続き、廃棄物排出事業者、収集運搬協力業者を対象とした啓発活動として弁護士講演会を開催します(P29参照)。

取り組みの体制



環境報告の信頼性に係る内部統制

当社では、認証範囲のすべての部署で、年に1回、ISO14001内部監査を実施しています。2016年度は、ISO9001：2015年版の新規取得と合わせ、ISO14001：2015年版への更新がありましたので、内部監査については、両規格合わせて実施しました。また、外部機関による審査を継続して受審していますが、2016年度の不適合はありませんでした。

登録証

ISO9001
新規取得
しました。



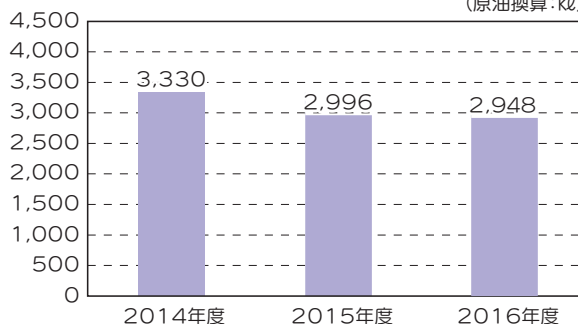
※ISO14001の付属書は、ISO9001の「登録活動範囲」「関連事業所」と同内容のため、割愛いたします。

エネルギー投入量

2016年度は、2015年度に比べエネルギー使用量は約2%、エネルギー使用原単位は約3%減少しています。

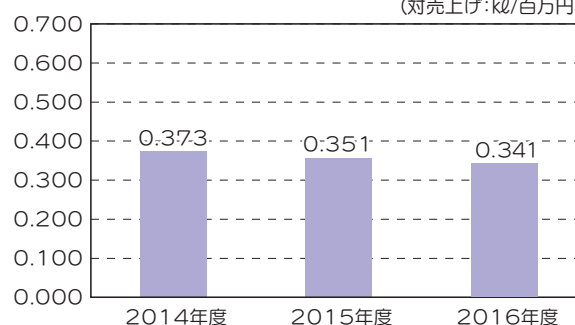
エネルギー使用量

(原油換算:kℓ)



エネルギー使用原単位

(対売上げ:kℓ/百万円)



原材料の合計量

廃棄物処理後の排ガス、処理残さ等を排出基準以下にするために原材料を使用しています。

原材料の合計量

(t)

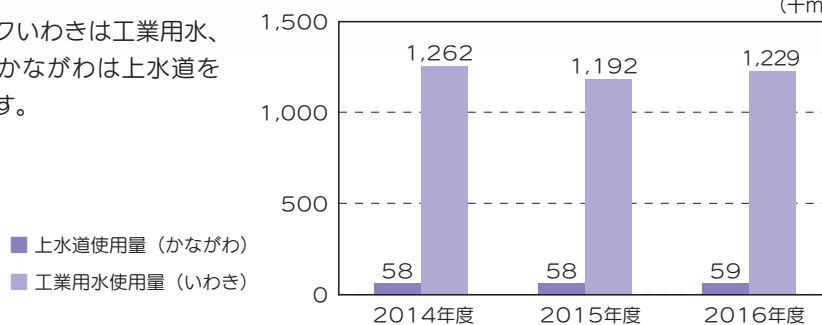


水資源投入量

ウェステックいわきは工業用水、ウェステックかながわは上水道を使用しています。

水資源投入量

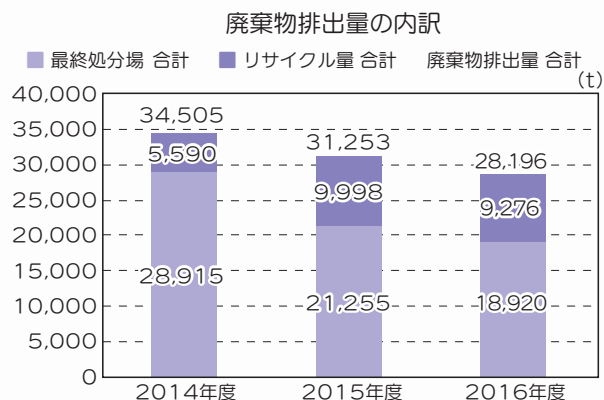
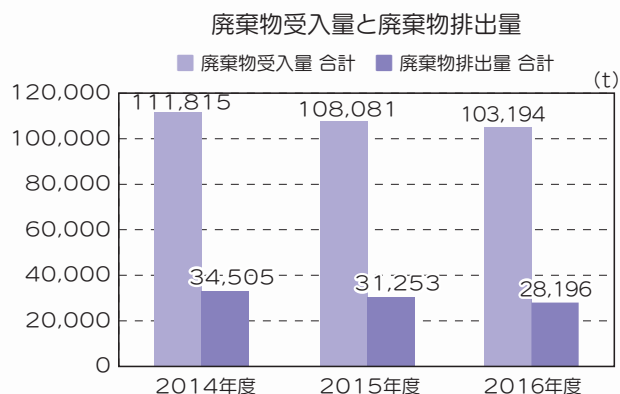
(千㎡)



ウェステック事業部は、いわき、かながわ二つの拠点で、それぞれの施設の特徴を生かしながら環境負荷低減に取り組んでおります。特筆すべきは、かながわの焼却熱回収発電量は、いわき・かながわ両拠点すべての施設で消費する電力を賄える量に達しており、余剰電力は外部供給しております。つまり当社の廃棄物処理事業は電力購入ゼロで運営しております。

環境管理責任者(取締役専務執行役員ウェステック事業部長) 堀口 司

廃棄物受入量と廃棄物排出量



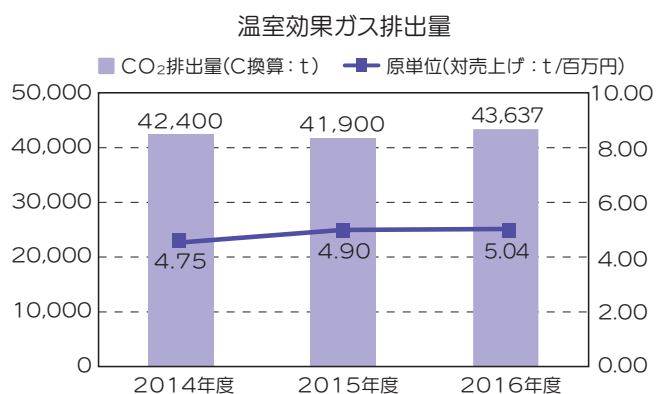
環境負荷まとめ

INPUT

エネルギー使用量
(原油換算) 2,948kl
購入原材料 10,149t
水資源投入量 1,288千㎡
廃棄物受入量 103,194t

ウェステックいわき
ウェステックかながわ
本社
各営業所・各出張所

温室効果ガス排出量



OUTPUT

排水量 1,229千㎡
廃棄物排出量 28,196t
リサイクル量 9,276t
最終処分量 18,920t
CO₂排出量(炭素換算)
43,637t

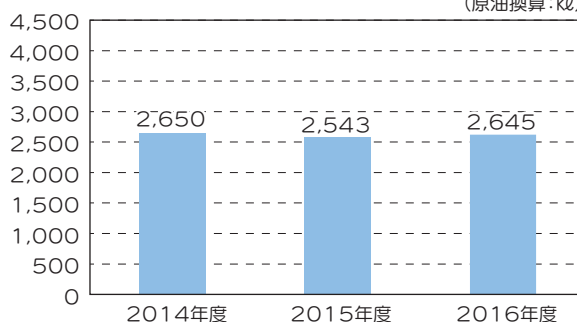
ウェステック いわき

エネルギー投入量

2016年度のエネルギー使用原単位は、対前年比で約7%増加しました。

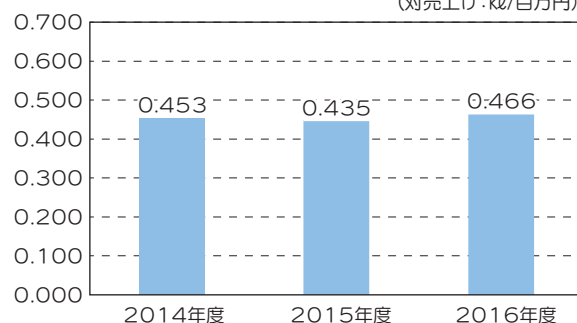
エネルギー使用量

(原油換算:kl)



エネルギー使用原単位

(対売上げ:kl/百万円)

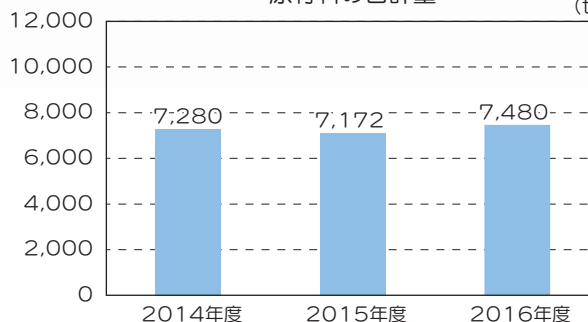


原材料の合計量

廃棄物処理後の排ガス、処理残さおよび排水等を排出基準値以下にするために、水酸化マグネシウム、水酸化ナトリウム等を使用しています。

原材料の合計量

(t)



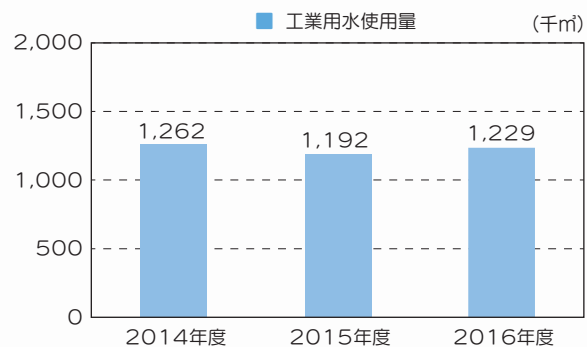
搬入された廃棄物の保管管理を担当しています。廃棄物を安全に処理できるように各工程ごとに仕分け管理し、保管中の廃棄物の臭気や荷姿状態を常に監視し、外部への漏洩や拡散の未然防止に努めています。

写真は、保管中の廃棄物の状態、および数量確認作業。
前処理課仕分係長 佐藤 勝也

水資源投入量

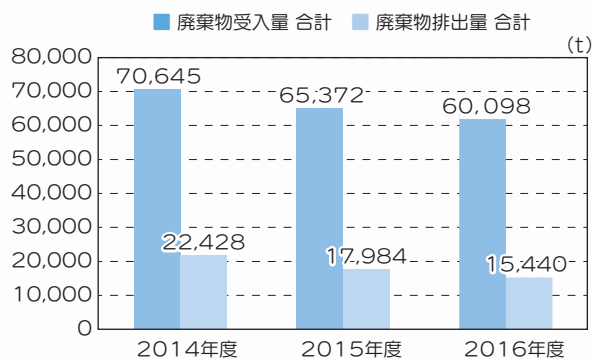
ウェステックいわきでは、工業用水を使用しています。

水資源投入量

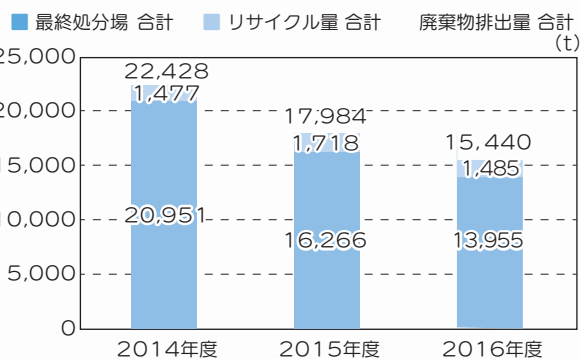


廃棄物受入量と廃棄物排出量

廃棄物受入量と廃棄物排出量



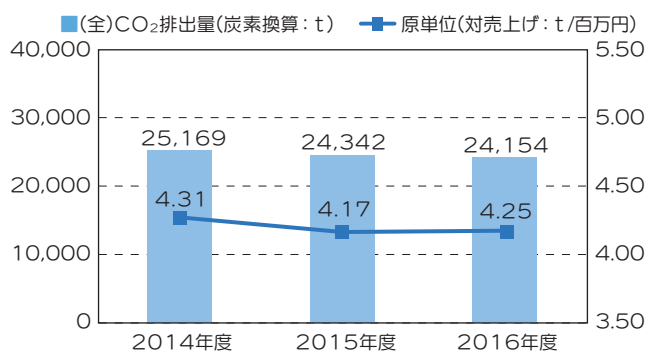
廃棄物排出量の内訳



温室効果ガス排出量

2016年度のCO₂排出量(炭素換算)は、2015年度に比べ微減ですが、原単位は、約2%の増加です。

温室効果ガス排出量

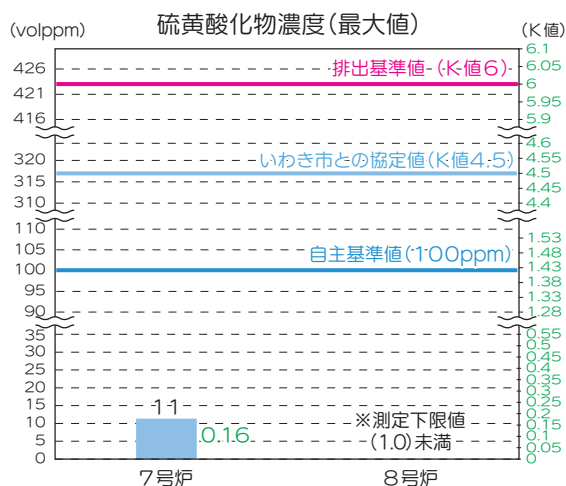


ウェステック いわき

大気汚染、生活環境に係る負荷

2016年度の焼却炉排煙の硫黄酸化物濃度、塩化水素濃度、窒素酸化物濃度、ばいじん濃度は、廃棄物処理施設の適正な維持管理により全て自主基準値以下で法令等の排出基準を遵守しています。

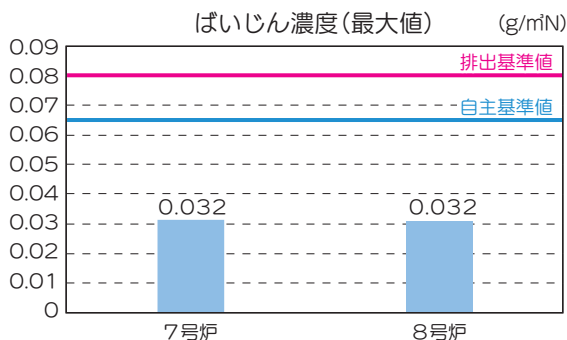
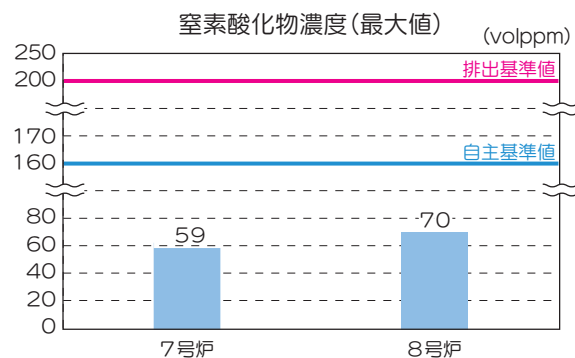
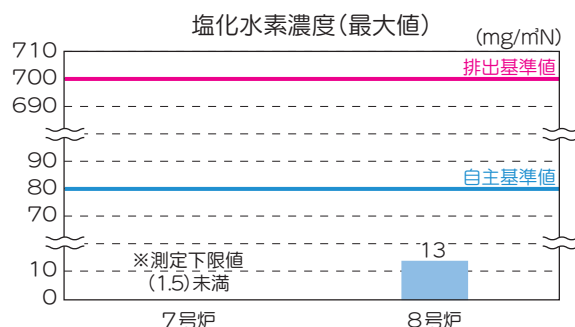
※排出基準値は、大気汚染防止法の排出基準値を記載しています。



※硫黄酸化物濃度については、排出基準値(大気汚染防止法)K値6です。また、いわき市との公害防止協定でウェステックいわき各炉の排出基準はK値4.5です。ウェステックいわきでは、K値をppm換算して自主基準値100ppmを設定しています。

K値をppm換算する場合、排ガス量により換算値が変動しますが、この表では、排出基準値、いわき市との協定値、自主基準値の比較をしやすくするため、K値4.5=317ppmと表記しています。

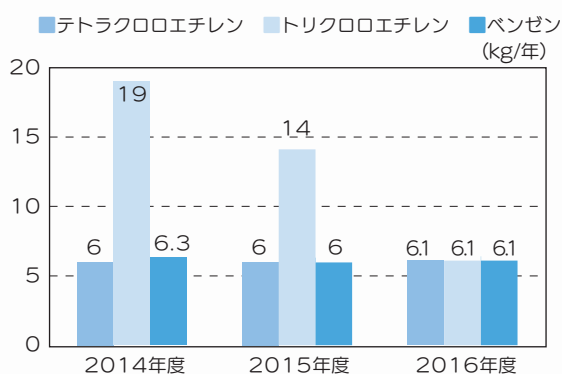
※今年度の最大値は、7号炉K値換算で0.16、8号炉測定下限値未満となっています。



化学物質の排出、移動量

PRTR(化学物質排出移動量届出)制度とは、事業者が対象化学物質を排出・移動した際には、その量を把握し、公表する制度です。

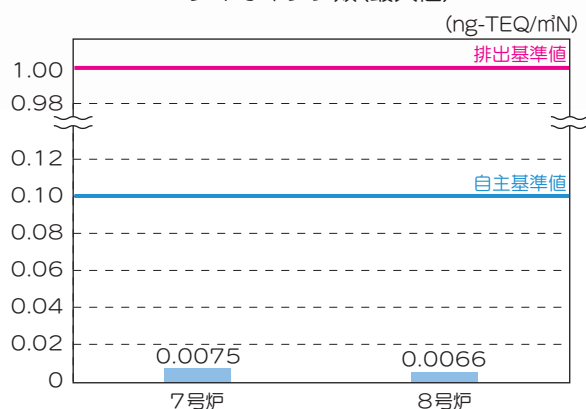
PRTR対象物質の排出量・移動量



有害物質の排出量

ダイオキシン類については、全て自主基準値以下で法令等の排出基準を遵守しています。

ダイオキシン類(最大値)



環境負荷まとめ

INPUT

エネルギー使用量
(原油換算) 2,645kℓ
購入原材料 7,480t
水資源投入量 1,229千㎡
廃棄物受入量 60,098t

ウェステックいわき

焼却施設
7号焼却炉
8号焼却炉
中和処理施設
有害物質分解施設
破碎施設
水処理施設

OUTPUT

排水量 1,229千㎡
廃棄物排出量 15,440t
リサイクル量 1,485t
最終処分量 13,955t
CO₂排出量(炭素換算)
24,154t

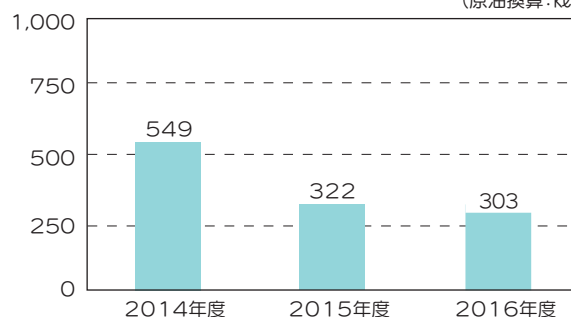
ウェステック かながわ

エネルギー投入量

2016年度のエネルギー投入量は、2015年度に比べると約9%削減し、原単位も同じく約2%の減少となっています。

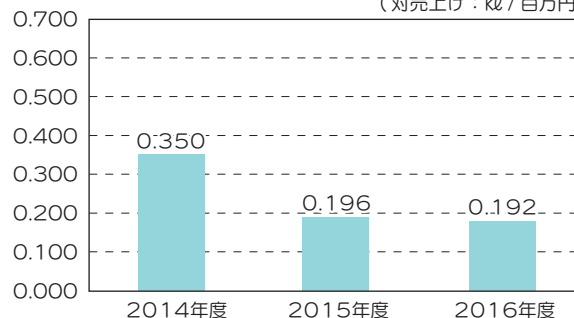
エネルギー使用量

(原油換算: kℓ)



エネルギー使用原単位

(対売上げ: kℓ / 百万円)

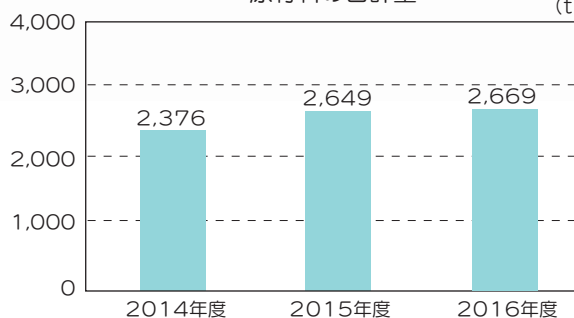


原材料の合計量

廃棄物処理後の排ガス、処理残さおよび排水等を排出基準値以下にするために、消石灰、重金属安定剤、活性炭等を使用しています。

原材料の合計量

(t)

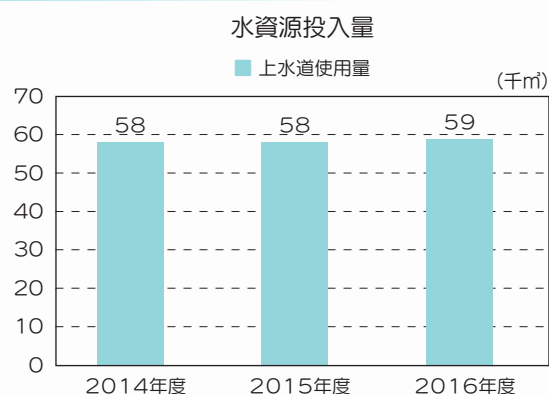


発電の燃料にもなる、廃棄物の受け入れと前処理を担当しています。受け入れ時に廃棄物の内容を確認し、必要に応じ廃棄物を小さくするための破碎を行います。その際、再利用できる金属は分別するなど、資源の回収にも取り組んでいます。

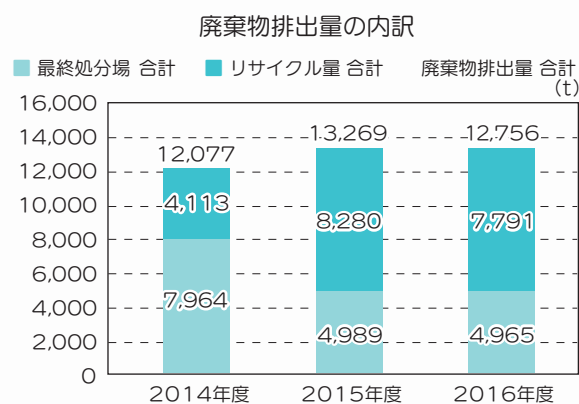
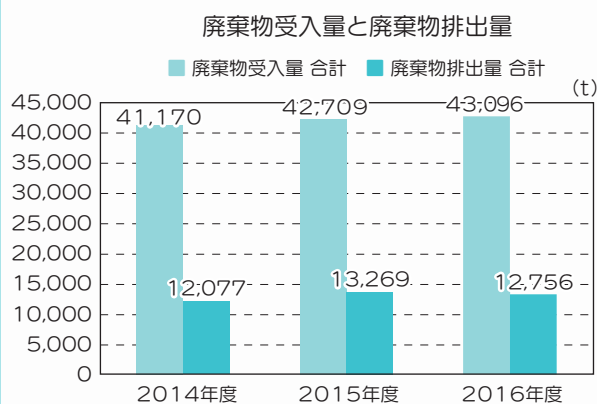
かながわ処理部処理技術課前処理GL 阿部 勇介

水資源投入量

ウェステックかながわでは、クローズドシステムを採用しています。水資源の投入は、上水道を使用しています。

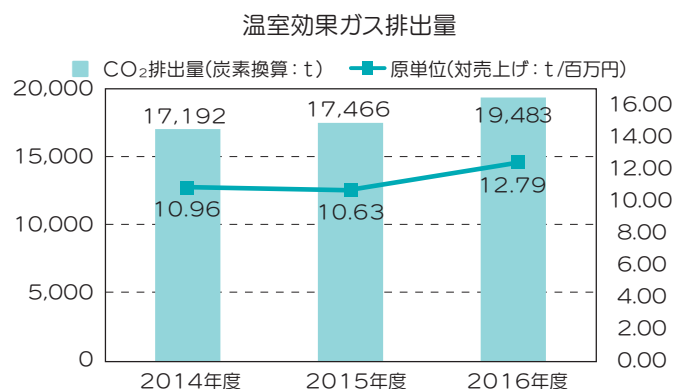


廃棄物受入量と廃棄物排出量



温室効果ガス排出量

2016年度のCO₂排出量(炭素換算)は、2015年度に比べ約12%の増加となり、原単位は、約20%の増加です。

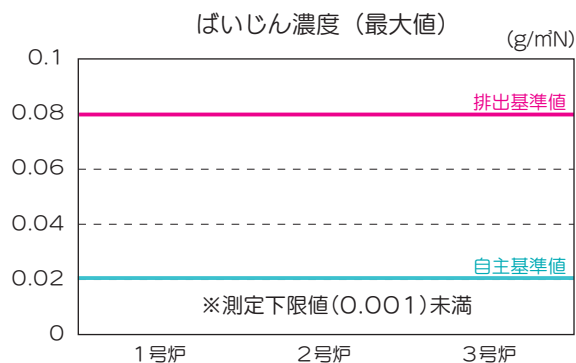
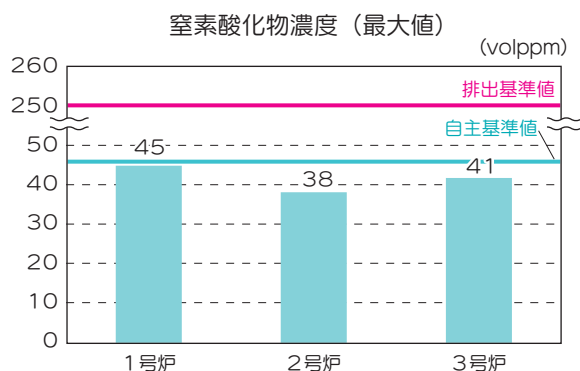
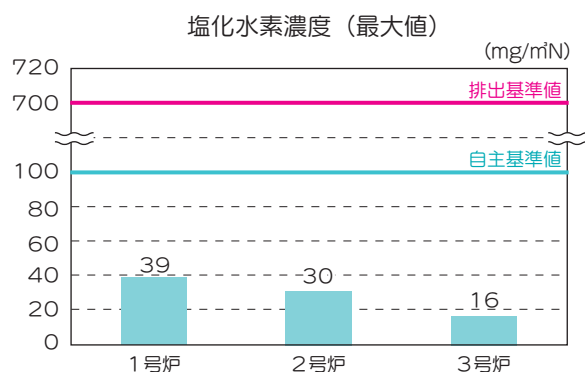
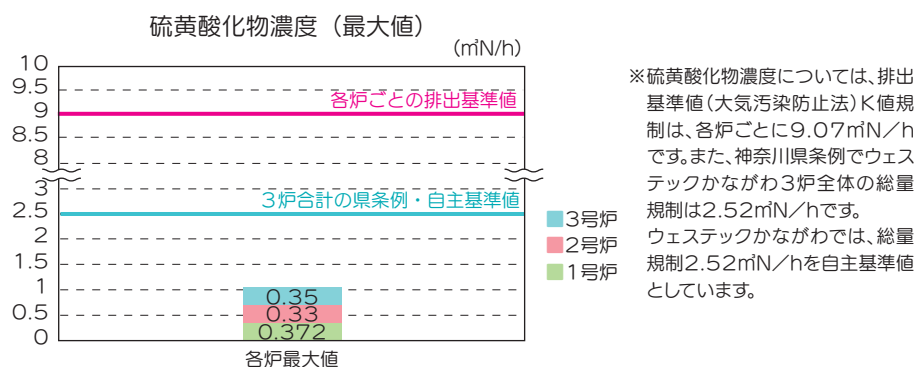


ウェステック かながわ

大気汚染、生活環境に係る負荷

2016年度の焼却炉排煙の硫黄酸化物濃度、塩化水素濃度、窒素酸化物濃度、ばいじん濃度は、廃棄物処理施設の適正な維持管理により全て自主基準値以下で法令等の排出基準を遵守しています。

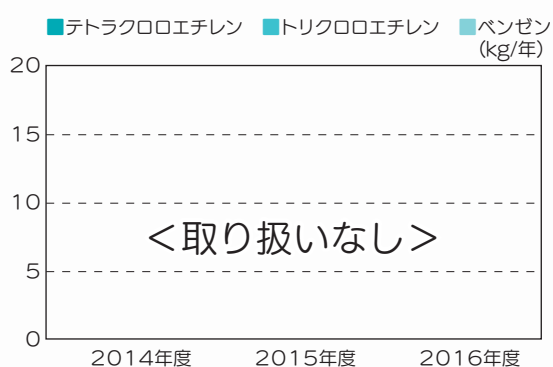
※排出基準値は、大気汚染防止法の排出基準値を記載しています。



化学物質の排出、移動量

ウェステックかながわでは、PRTR制度に該当する化学物質(ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン他)の取り扱いはありません。

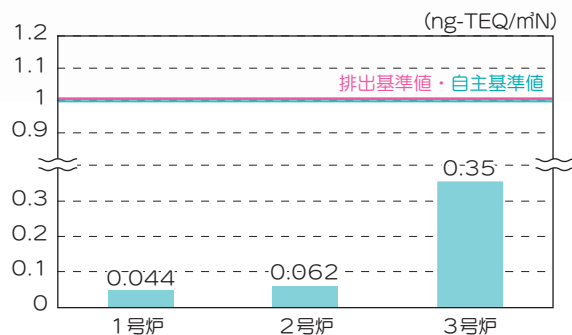
PRTR 対象物質の排出量・移動量



有害物質の排出量

ダイオキシン類については、全て自主基準値以下で法令等の排出基準を遵守しています。

ダイオキシン類(最大値)



環境負荷まとめ

INPUT

エネルギー使用量 (原油換算)	303kℓ
購入原材料	2,669t
水資源投入量	59千㎡
廃棄物受入量	43,096t

ウェステック かながわ

焼却施設

- 1号焼却炉
- 2号焼却炉
- 3号焼却炉

破碎施設

脱水施設

OUTPUT

排水量	0千㎡
廃棄物排出量	12,756t
リサイクル量	7,791t
最終処分量	4,965t
CO ₂ 排出量(炭素換算)	19,483t

環境配慮経営の経済的側面

環境対策投資金額

2014年、2015年で低濃度PCB筐体建屋(⑤産業廃棄物・リサイクル対策)、8号炉汚泥ピット前室設置(③公害対策(騒音、振動、悪臭))等の投資案件が終わりました。2016年度は、④省エネ・CO₂排出削減のためにハイブリット重機を導入しました。

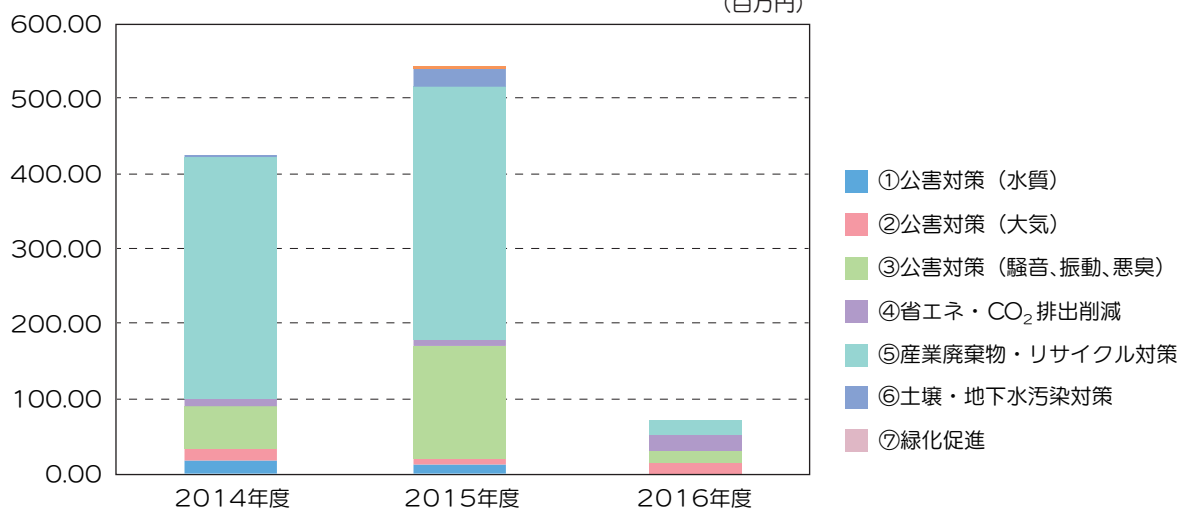
環境対策投資金額

(百万円)

分 類	2014	2015	2016
①公害対策(水質)	17.75	12.23	0.00
②公害対策(大気)	16.61	8.90	17.11
③公害対策(騒音、振動、悪臭)	54.52	149.56	15.45
④省エネ・CO ₂ 排出削減	12.35	6.84	23.20
⑤産業廃棄物・リサイクル対策	321.48	338.06	17.06
⑥土壌・地下水汚染対策	0.55	23.90	0.00
⑦緑化促進	0.00	2.76	0.00

環境対策投資金額

(百万円)



環境に関する規制等の順守状況

2016年度環境に関する法令・規制等の順守状況

当社はマネジメントシステム基本方針に「法令・規制・自主基準を順守」の一文を掲げています。法令等の順守のために、当社は1998年に認証を取得した国際規格ISO14001を活用し、法令・規制等の登録、順守状態の評価を実施しています。評価の結果、2016年度も順守状態を維持していることを確認しています。

主な環境に関する法令・規制と順守評価一覧（2016年度）

No.	法令等の名称	内 容 等	No.	法令等の名称	内 容 等
1	公害防止協定 (いわき市～フレハ環境)	大気汚染の防止対策関連	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の3第7項	産業廃棄物管理票交付等状況報告関連
		振動・騒音等の防止対策関連	9	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条、第14条の4	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物の収集運搬業許可基準関連
		悪臭の防止対策関連	10	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条の4第2項	産業廃棄物処理施設の行政による定期検査関連
		大気汚染に係る測定関連	11	消防法第16条の5	危険物貯蔵所等の行政立入検査関連
		悪臭物質、産業廃棄物に係る測定関連	12	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法)第5条の2	第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出義務関連
2	公害防止協定 (フレハ～フレハ環境)	排水基準関連	13	エネルギーの使用の合理化に関する法律第15条	特定事業者のエネルギー使用量の定期報告義務関連
		排水に係る測定関連	14	水質汚濁防止法第14条5項	有害物質使用特定施設及び貯蔵指定施設の定期点検関連
3	ダイオキシン類対策特別措置法第28条	排ガス、排水中のダイオキシン汚染の状況調査関連	15	水道法第13条	水道事業者の給水開始前水質測定関連
4	金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令第1条	燃え殻、脱水汚泥に係る埋立処分に係る判定基準関連	16	低濃度PCB廃棄物収集・運搬ガイドライン、低濃度PCBの処理に関するガイドライン	低濃度PCB廃棄物収集運搬、処理の基準関連
5	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の2第3項	廃棄物処理施設の維持管理基準関連	17	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	フロン類の破壊量報告関連
6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の3、5	産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の保管基準関連	18	東京都環境確保条例 神奈川県生活環境の保全等に関する条例 千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例 埼玉県生活環境保全条例	ディーゼル車運行規制関連
7	地球温暖化対策の推進に関する法律第26条	温室効果ガス算定排出量の報告			

ステークホルダーへの対応状況

第14回CSR地域対話集会への参加



2016年11月30日、株式会社クレハいわき事業所が主催する第14回CSR地域対話集会に参加いたしました。当社は、「クレハ環境のRC活動」について発表し、地域の皆様にご聴講いただきました。

地区交流会視察風景

本社周辺の自治会役員様及び住民の皆様参加の視察会等を定期的の実施しています。



ウェステック かながわの見学風景

ウェステックかながわは、個人から学校関係、企業、自治会、婦人会など多数の皆様が来社されております。見学ルートでは破碎作業や焼却炉の運転操作状況などを見ることができ、廃棄物処理の流れを紹介しています。

生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況



購入品について

グリーン購入法に適合(環境にやさしい製品)したコピー用紙、トイレトペーパー等を購入しています。

清掃 ボランティア



毎年6月と10月に行われるいわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動に100名を超える従業員が参加しております。



全国ごみ不法投棄監視ウィークに行われた不法投棄廃棄物撤去活動に参加し、不法投棄された廃棄物の撤去を行いました。

2016年6月1日実施



毎年秋に行われる蛭田川河川堤防美化作業に参加いたしました。

2016年10月22日実施

地域のリサイクルフェアに従業員が参加し、不法投棄防止啓発活動を行いました。

環境保護活動

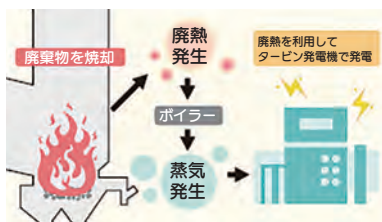


2016年10月16日実施

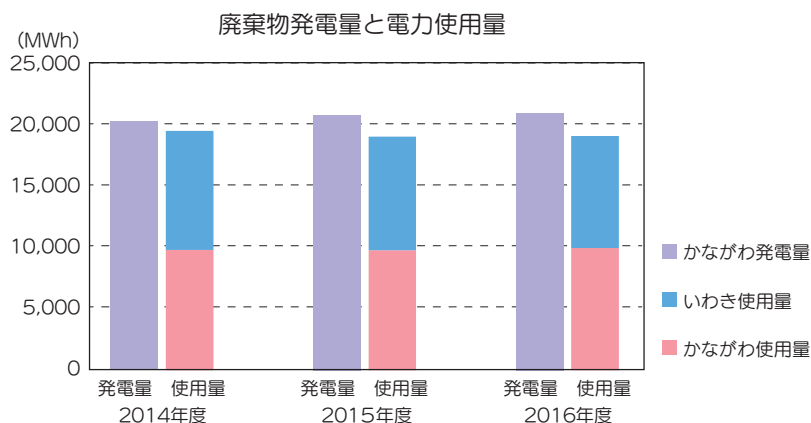
環境負荷低減のために

ウェステックかながわのサーマルリサイクル

ウェステックかながわは焼却炉3基の廃熱を回収するサーマルリサイクル発電により最大4,800kWhの発電能力があります。発電された電力はウェステックかながわで使用し、余剰電力は売電しています。余剰エネルギーを電力の形で社会に還元し、環境負荷低減に貢献しています。



タービン発電機



※このグラフは、ウェステックかながわのサーマルリサイクル発電量が、ウェステックかながわとウェステックいわきの使用電力を全量賄ってなお余剰があることを示しております。

ウェステックいわきの臭気対策

2014年から2015年末にかけて実施した一連の臭気対策の効果により当社原因の臭気苦情件数を大きく減らすことができました。

実施した主な臭気対策



気密性向上対策(実施前)
壁・屋根にスキマあり(経年劣化、震災由来)

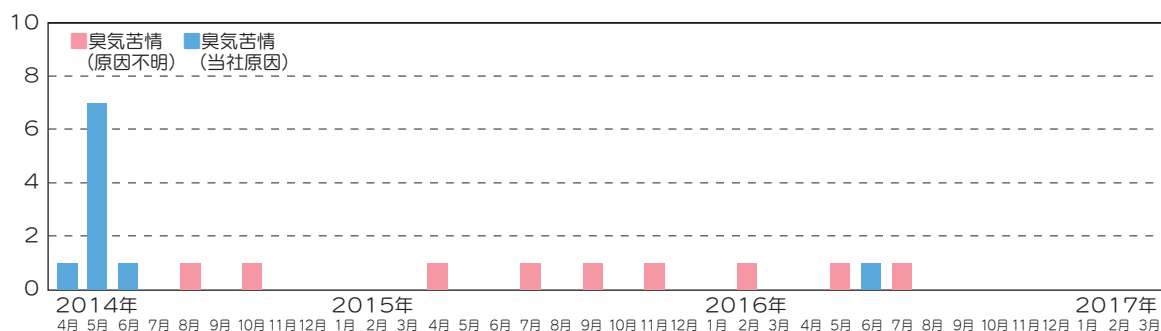


気密性向上対策(2014～2015実施)
スキマ等を全て密閉処置



8号焼却炉前室(2015年未完成)

臭気苦情の件数推移



※グラフ中「原因不明」は調査の結果、弊社に臭気元が見つからないものを指します。風向き等から明らかに弊社原因ではないと判断されるものも含みます。




微量&低濃度PCB廃棄物処理

無害化処理の概要

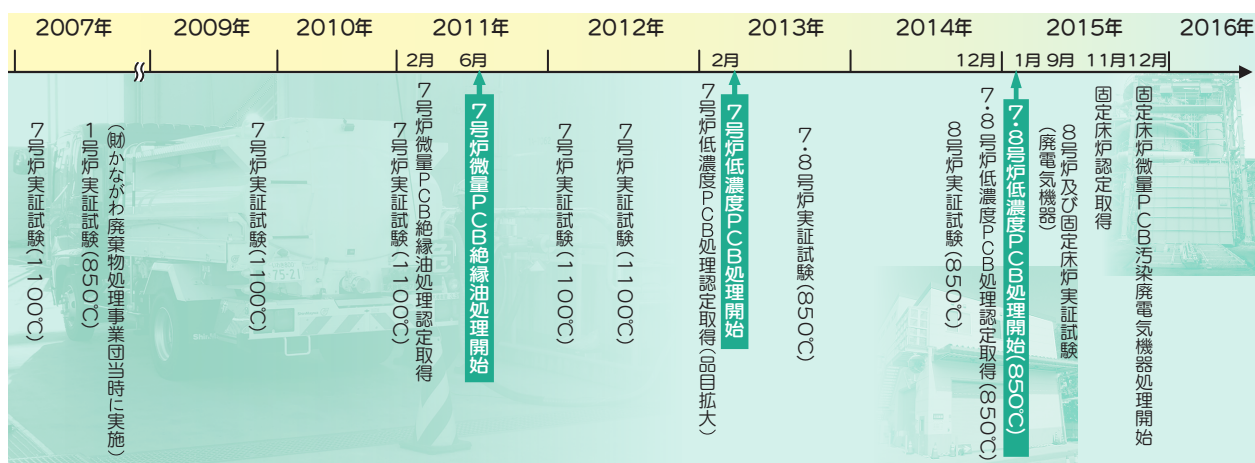
無害化認定を受けた以下の施設で、安全・確実に処理を行っています。

項 目	内 容
施 設 の 名 称	7号焼却炉（ロータリーキルン式焼却炉） 8号焼却炉（ロータリーキルン式焼却炉、固定床炉）
施 設 の 種 類	廃ポリ塩化ビフェニル等 ポリ塩化ビフェニル汚染物 又はポリ塩化ビフェニル処理物の焼却施設
施 設 の 場 所	ウェステックいわき（福島県いわき市錦町落合136番）
収 集 運 搬	あり（日本国内）

下記に記載する、すべての低濃度PCB廃棄物を処理することができます。

	低濃度PCB廃棄物	
	微量PCB汚染廃電気機器等	低濃度PCB含有廃棄物
低濃度 PCB廃油 	微量PCB汚染絶縁油 電気機器又はOFケーブルに使用された絶縁油であって微量のPCBに汚染されたもの	低濃度PCB含有廃油 PCB濃度が5,000mg/kg以下の廃油等（主として液状物）
低濃度 PCB汚染物 	微量PCB汚染物 微量PCB汚染絶縁油によって汚染されたもの	低濃度PCB含有汚染物 PCB濃度が5,000mg/kg以下の汚泥、紙くず、木くず、繊維くず、廃プラスチック類、金属くず、陶磁器くず、コンクリート破片等の不要物（金属くず等）に付着したもののPCB濃度が5,000mg/kg以下のもの
低濃度 PCB処理物 	微量PCB処理物 微量PCB廃油、低濃度PCB汚染物を処分するために処理したもの	低濃度PCB含有処理物 PCB廃棄物を処分するために処理したものであって、PCB濃度が5,000mg/kg以下のもの（金属くず等は付着物のPCB濃度）

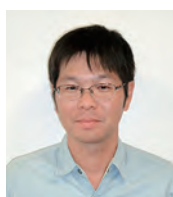
微量&低濃度PCB廃棄物処理のあゆみ



いままでの微量&低濃度PCB廃棄物処理実績

年 度	処理量 (t) ※
2014年度	2,769
2015年度	3,104
2016年度	2,543

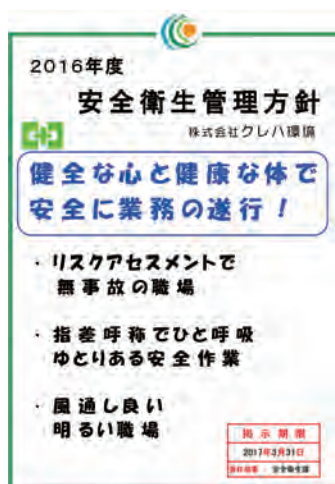
※絶縁油／廃油、汚染物／処理物の合計



2016年度より本格的に廃電気機器の処理を開始し、低濃度PCB廃棄物の取り扱い品目を充実させております。また営業スタッフも充実し、お客様に安心してご利用いただけるよう丁寧な対応を心掛けております。どうぞお気軽にご相談下さい。

低濃度PCB営業課担当課長 本郷 淳

安全衛生活動



2016年度の取り組み

- ①タッチ&コールの全社展開
- ②社長・取締役によるパトロールの実施
- ③運転者に対して管理職からの注意喚起
- ④業務用車の運行計画確認
- ⑤指差呼称の徹底・定着
- ⑥安全意識高揚のための放送
- ⑦メンタルヘルス向上活動の推進



タッチ&コール



ウェスデックいわき社長パトロール



ウェスデックかながわ社長パトロール

リスクアセスメント

リスクアセスメント実施状況

リスクレベル	2016年度		
	件数	対策実施件数	対策後件数
Ⅳ 安全衛生上、重大な問題がある	33	33	0
Ⅲ 安全衛生上、問題がある	326	326	115
Ⅱ 安全衛生上、多少の問題がある	357	240	358
Ⅰ 安全衛生上の問題はほとんどない	152	46	344
対策によりリスクがなくなった			51

リスクアセスメントはクレハグループ全社で推進しています。

クレハ環境においても

- ①あらゆる危険性・有害性を特定する
- ②特定した危険性・有害性に起因するリスクを特定し、評価する
- ③労働者保護を優先して対処しなければならぬものを具体的に明確化する

という手順に従い、高リスクの事案からその対策が実施されています。

高リスクである、レベルⅣ・Ⅲは全て対策済となっており、レベルⅡ・Ⅰについては、順次実施されています。また、新しい作業や作業環境や条件が変化した際も改めてリスクアセスメントが行われます。

指差呼称

『指差呼称』は、作業や動作の区切りで作業対象を指差し、その名前やこれから行う動作を声に出すことです。

クレハ環境でもこの『指差呼称』を取り入れ、作業時をはじめ車両運転時、工場内の歩行時など多くの状況での実施を指導しています。また、工場内で作業に当たる協力会社の方にも励行をお願いしています。

今年度も指差呼称の徹底を啓発・教育の結果、100%に近い実施率となりました。今後も実施徹底を図ってまいります。

指差呼称実施率 (%)

実施	2016年度	2015年度
人	99.0	96.9
フォークリフト	99.6	98.8
大型車両(大型)	99.4	98.6
乗用車	100	98.9
2・4t車両	99.3	97.8

※調査は毎月実施しており、上記年度平均は通年平均値です。



防災訓練と安全パトロール

当社では、消防法に定める危険物あるいは有害物質も取り扱っています。あってはならない『万が一』に備え、防災訓練をおこなっており、毎回発生場所・想定状況を変え、幅広く対応できるように訓練をしています。ウェステックいわきの総合防災訓練ではいわき市消防本部勿来消防署様のご協力ご指導を頂いています。さらに地域役員の皆様をお招きし、非常時に備える当社社員の姿勢をご視察いただきました。



いわき防災訓練 2016年10月15日



かながわ防災訓練 2016年10月21日



いわきパトロール (月1回)



かながわパトロール (月1回)

管理職によるパトロールを毎月実施しています。複数部署からなるパトロールメンバーにより、様々な視点から不具合箇所や潜在危険箇所を見つけ、対策が講じられます。

2016年度は足元(段差による転倒)の危険についての指摘が多く、下記のヒヤリハット状況にも表れています。

2016年度を振り返って

2016年度は、休業災害ゼロなど、人身災害を前年度より減らし、メンタルヘルスについても社内教育やストレスチェック導入など順調に進めることができました。しかし、事故総数は前年度とほぼ変わらず、まだ努力を必要とする状況です。特に9月に発生したかながわでの外部作業業者薬傷、いわき7号焼却炉供給設備小火については再発防止策として安全教育方法やマニュアルの見直し、設備改善等を行っています。



2016年度の災害発生件数は昨年度と大きな差はありませんでした。2017年度は特に人身災害ゼロを目標にいわき・かながわ・外部の作業現場等のパトロールを実施いたします。また、昨年度に引き続きストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防ぐよう努めます。

安全衛生部 安全衛生課 主任 斎藤 格

2016年度 災害発生状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2016年度合計	2015年度	2014年度
人 休 業 災 害													0	1	2
身 不 休 災 害						1							1	1	0
災 赤 チ ン 災 害											1		1	3	8
害 重大ヒヤリ事故													0	1	0
物 損 事 故	1			1		1	1	2	1	1			8	10	6
交 通 事 故	1	3	3	2	1	1			1	1	2	4	19	15	25
そ の 他						1							1	0	1
合 計	2	3	3	3	1	4	1	2	2	2	3	4	30	31	42

※「交通事故」は当社敷地外の道路等における事故で通勤途上の事故及び被害事故も含まれています。

※排出事業者先等での車両による設備の破損は物損に含まれます。

※外部作業業者による事故は含まれません。

2016年度 ヒヤリハット状況 (潜在災害摘出状況)

種 類	件 数	比 率	種 類	件 数	比 率
挟 ま れ	22	2.20%	眼 部 受 傷	13	1.30%
巻 き 込 み	1	0.10%	薬 傷 火 傷	107	10.50%
転 倒	230	22.50%	感 電	0	0.00%
転 落 墜 落	25	2.40%	交 通 事 故	434	42.50%
刺 傷・裂 傷	42	4.10%	設 備 損 害	11	1.10%
打 撲 激 突	59	5.80%	そ の 他	37	3.60%
飛 来 落 下	40	3.90%	合 計	1,021	100.00%

労働災害発生件数	0件
延べ労働時間	681千時間
休業度数率	0
休業災害強度率	0
※休業度数率…労働災害者数÷延べ労働時間×100万	
※休業災害強度率…労働損失(休業)日数÷延べ労働時間×1,000	

ウェステックいわきの紹介

ウェステックいわきの7・8号焼却炉では、塩素・シリコン類を含む汚泥、廃プラ、廃酸、廃アルカリ及び医療系廃棄物を中心に各種廃棄物を処理しています。

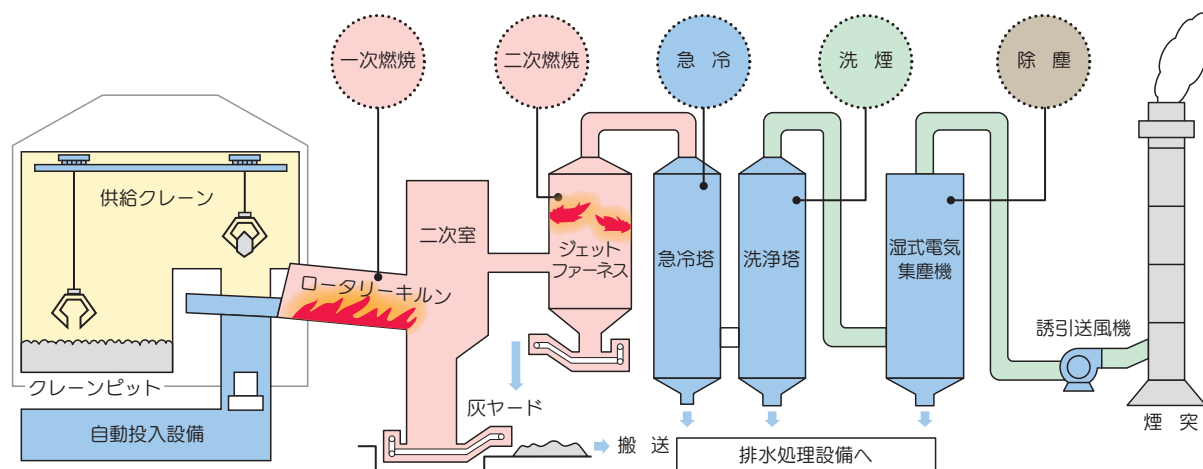


昨年の火災事故を教訓に、今一度初心に立ち返り、更なる「安全」文化を築くことで、ステークホルダーの皆様「安心」して頂き、事業を「安定」継続させ、社会に貢献できるように取り組んで参ります。

執行役員ウェステック事業部副事業部長
(いわき処理部長) 小島 英樹

7・8号焼却炉

ロータリーキルン方式



7号焼却炉

汚泥の焼却施設 182m³/日
 廃油の焼却施設 110m³/日
 廃プラスチック類の焼却施設 104t/日
 シアン化合物の分解施設 202m³/日
 産業廃棄物の焼却施設 238t/日

8号焼却炉

汚泥の焼却施設 182m³/日
 廃油の焼却施設 118m³/日
 廃プラスチック類の焼却施設 104t/日
 シアン化合物の分解施設 266m³/日
 産業廃棄物の焼却施設 238t/日



ウェステックいわき



7号焼却炉



8号焼却炉



計量設備 計量設備わきの黄色い柱は放射線計測器です。持ち込まれる廃棄物は放射線を常時計測しています。



8号焼却炉ロータリーキルン交換



8号焼却炉低濃度PCB筐体処理施設

ウェステックかながわの紹介

ウェステックかながわは、廃熱利用によるサーマルリサイクル発電設備を備えており、2012年2月7日に廃棄物処理法において定められた「熱回収施設設置者認定」を取得しています。前処理工程による鉄・アルミの自動選別装置、キルンストーカ炉と流動床炉において、多様な廃棄物に対応しています。

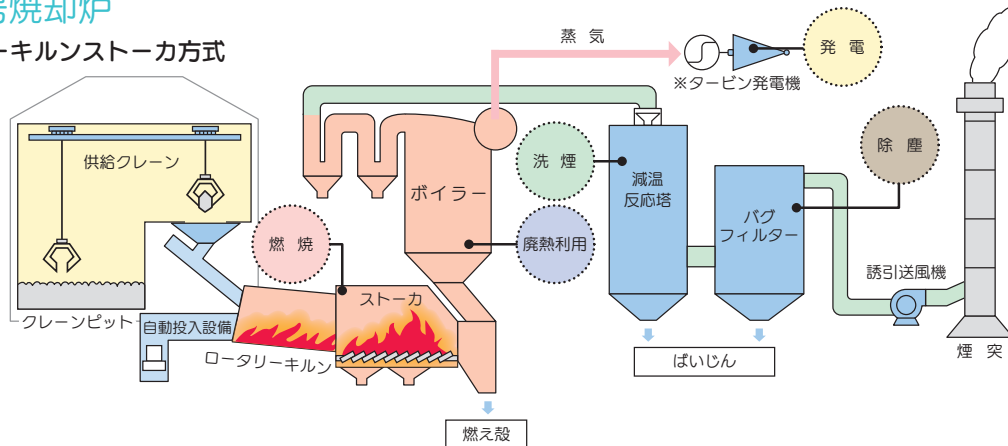


「安全、安心、安定操業」を方針に掲げ、産業廃棄物の適正処理、焼却廃熱利用発電、焼却残渣のリサイクルなど、お客様に環境価値の高いサービスを提供しております。

ウェステック事業部副事業部長
(かながわ処理部長) 市川 勇治

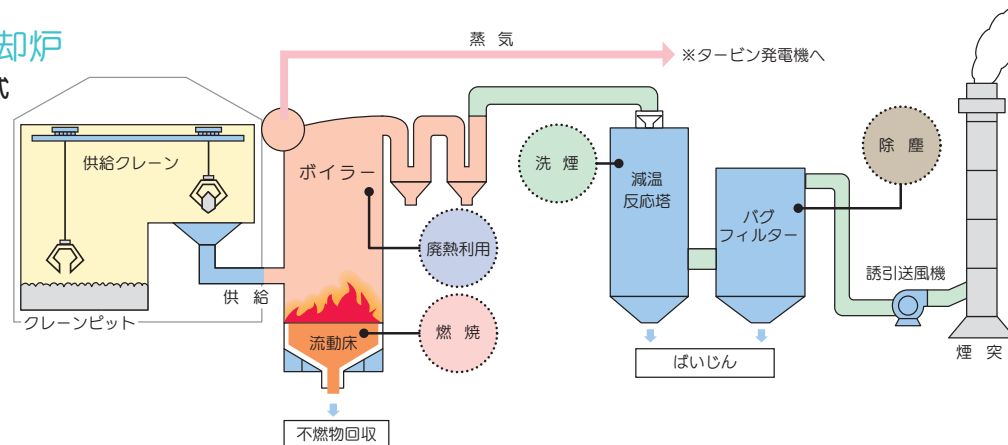
1・2号焼却炉

ロータリーキルンストーカ方式



3号焼却炉

流動床方式



1・2号焼却炉計

混合焼却 140t/日
汚泥の焼却施設 112m³/日
廃油の焼却施設 150m³/日
廃プラスチック類の焼却施設 80t/日
その他産業廃棄物の焼却施設 230t/日

3号焼却炉

混合焼却 70t/日
汚泥の焼却施設 48m³/日
廃油の焼却施設 75m³/日
廃プラスチック類の焼却施設 40t/日
その他産業廃棄物の焼却施設 115t/日



ウェステックかながわ



ウェステックかながわに隣接した積替保管施設である「川崎物流センター」。京浜地区に位置する物流拠点として、お客様のご要望に幅広く対応できるサービスを提供させていただいています。



計量設備



見学に対応した研修室前の様子

環境エンジニアリング事業



環境エンジニアリング事業のフロント業務を担当する当部は、地球環境の保全・保護に貢献することを目指して日本国内のみならず、海外にも展開しており、独自技術を活かした環境対策設備の普及に努めています。

環境営業部長 白土 晶浩

VOC排ガス処理設備

溶剤回収・脱臭・排ガス処理装置

【GASTAK】

当社のGASTAKは、排ガスに含まれる有機溶剤の回収や、排ガス中の有害・悪臭物質の除去を目的とした画期的な排ガス処理装置です。

納入実績

2014年度 4基
処理ガス量
400~1,300m³/min
2015年度 -
2016年度 -

GASTAK®

「コンバーテック」
加工技術研究会より抜粋



環境機器の製造・納入を通して地球の環境保全に貢献しています。

水処理設備

水酸化カルシウム溶液注入設備【オネストライマー】

水道事業者向け水酸化カルシウム溶液注入設備(オネストライマー)は全国各地の浄水場に導入され、水道施設(浄水配水設備)の腐食防止、大幅な寿命延長により、安全でおいしい水への水質改善に効果を発揮しています。

納入実績

2015年度 1基
処理水量
9,500m³/日
2016年度 2基(建設中)
処理水量
123,000m³/日

水酸化カルシウム溶液注入設備
(提供: 東京都水道局 長沢浄水場)





環境技術部では環境関連設備を基本計画から設計・施工・試運転・引渡しまで、責任ある一貫体制で、常にお客様の立場にたったエンジニアリングを提供いたします。

環境技術部長 伊藤 彰洋

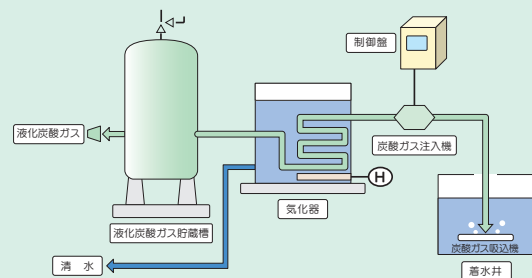
炭酸ガス注入設備

高pH値の原水を浄水処理するには、凝集処理時の原水のpH値を適正にコントロールする必要があります。pH値を下げるための薬品は種々ありますが、安全性・取扱性に優れた薬品である炭酸ガス(二酸化炭素)を用いた注入設備です。

納入実績

2015年度 3基 処理水量 544~88,000m³/日
2016年度 -

炭酸ガス注入設備



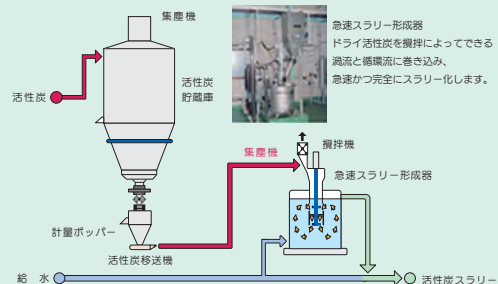
ドライ粉末活性炭注入設備

ドライ粉末活性炭注入設備は、原水中に存在するカビ臭などの異臭味物質や油脂類の吸着除去に有効なドライ粉末活性炭を貯留および注入する設備です。

納入実績

2015年度 -
2016年度 4基 処理水量 7,895~
164,000m³/日

ドライ粉末活性炭注入設備



シャロークリーン

河川や湖沼の富栄養化が進んだ結果、湖沼・貯水池では藍藻類によって引き起こされる『アオコ』が問題となっています。『シャロークリーン』は、『アオコ』の必須要素の一つである光に着目し、水面の一部を必要最小限遮光することにより、水中の生態系を破壊せずに藻類の異常増殖を制御します。

納入実績

2015年度 5基 遮光面積 4~150m²
2016年度 1基 遮光面積 97m²

シャロークリーン設置 84日経過

シャロークリーン未設置



さまざまな取り組み

過積載防止啓発活動

レスポンス・ケア活動のうち法令順守および安全重視の観点から、過積載防止に取り組んでいます。11月1日は計量記念日であることから、特に力を入れ過積載防止啓発活動を行っています。

この活動は2015年から実施しており、計量所に「絶対にしない!させない!過積載禁止」ののぼりを立て、過積載撲滅を呼びかけています。



過積載禁止の看板



ウェステックいわき計量所とのぼり

献血功労者感謝状受賞

第15回健康いわき21推進市民大会において、当社が毎年行っている献血の団体協力の取り組みが評価され、日本赤十字社より銀色有功章（献血功労者感謝状）を授受しました。今後も、献血の協力のみならず、様々な活動を通して地域社会に貢献してまいります。



5S整流化活動

社員全員が一丸となり働きやすい職場を目指し、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）整流化活動を行っています。



2016年度新入社員チーム



2016年度は9チームで活動を行いました。

今回も新入社員チームを結成し、新鮮な目で各職場をチェックしています。

5S整流化活動報告会 8回開催
5S整流化活動コンテスト 1回開催

排出事業者向け講演会

「第三回排出事業者責任講演会～うっかりが怖い！廃棄物処理法の落とし穴～」と題し当社の顧問弁護士による講演会を2016年11月4日に開催しました。講演では最近話題となった事件を題材に、どのようなことが問題だったのかについて、その背景となる法律の解説も織り交ぜながら、分かりやすくご紹介していただきました。2014年から開催しているもので、今回は110名を超える方々にご参加いただきました。当社では廃棄物管理に関わる全ての方と共に法令の理解とコンプライアンスの意識を高めることを目的に情報の提供に努めてまいります。



芝田麻里弁護士による講演会

省エネ優良事業者としてSクラス評価

経済産業省資源エネルギー庁において、過去5年間の省エネルギーに対する取組みをS、A、B、Cの4段階で評価を行い、当社は省エネが優良な事業者に与えられるSランクの評価をいただきました。

～省エネの取組み～

当社では廃油や再生油を利用し、重油等の化石燃料資源の節約に貢献しています。

また、廃棄物の性状を見ながら、焼却炉を最適な運転条件で運転させることで、燃焼効率の向上(＝省エネ)を図っています。

ウェステックかながわでは、廃棄物を処理した際の排熱を使って発電を行っています。発電した電力は施設内で使用する他、売電も行っています。

他にも、蛍光灯をLEDに変更したり、クールビズ・ウォームビズを取り入れるなど、会社全体で様々な取組みを行っています。



従業員に対する取組み

2016年10月15日、ウェステック事業部にて勉強会を開催しました。

例年、様々なテーマで行われている勉強会ですが、今回のテーマは「防災」です。日常的に行われている作業についてそのリスクを再認識することに加え、場内の消火設備、防災機材について種類や使い方などを学び、防災意識の向上を図りました。

また、若手社員の育成のため、2014年より新入社員教育協歩研修を導入しています。



新入社員導入教育協歩研修

RC活動を支える351人

今日も一日



内部監査部



RC部



安全衛生部



技術開発部



技術企画部



経営企画部



調達部



総務部



人事部



経理部



低濃度PCB営業部



東北営業部



メディカル営業課

ご安全に!!



営業企画部



ロジスティック部 通運課



ウェステック企画部 技術グループ



ウェステック企画部 分析グループ



環境修復課



ウェステック企画部 企画課



いわき処理部 前処理課作業



いわき処理部
処理課運転係(7号焼却炉計器室)



いわき処理部 前処理課作業



いわき処理部(休憩室)



いわき処理部 処理課作業



いわき処理部(低濃度PCB処理課)



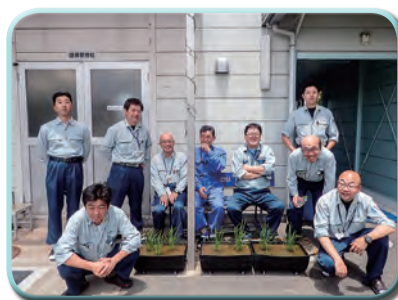
いわき処理部
処理課(処理係(中和担当))



いわき処理部
処理課(処理係(中和作業))



いわき処理部
処理課(処理係(医廃担当))



いわき処理部 設備管理課



いわき処理部 前処理課(仕分係)



いわき処理部
前処理課(前処理係(ソリッド))



いわき処理部
前処理課(前処理係(リキッド))



いわき処理部 前処理課(薬類係)



いわき処理部 前処理課(受付係)



いわき処理部
処理課運転係(8号焼却炉計器室)



いわき処理部(工務室)



環境営業部



環境技術部
プラント・計電・工事・環境技術 各グループ



環境技術部
設計・工事 各グループ



環境技術部
計電・環境技術・プラント 各グループ



仙台営業所



東京営業所



茨城営業所



大阪出張所



名古屋出張所



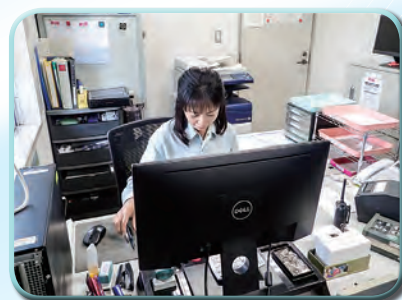
川崎物流センター



ウェステックかながわ(設備G)



ウェステックかながわ(前処理)



ウェステックかながわ(受付)



ウェステックかながわ(中央管制室)



ウェステックかながわ(管理課)

1 仙台営業所

2 茨城営業所

3 東京営業所

4 名古屋出張所

5 大阪出張所

A ウェステックいわき

B ウェステックかながわ

■ 事業所(廃棄物処理)

■ 営業所・出張所



当社は、2016年12月に創立45周年を迎えました。
人と社会、そして地球環境との調和を大切にする会社として、
これからもたゆまぬ努力を続けてまいります。

沿 革

1971年 12月	呉羽梱包株式会社設立
1975年 10月	社名を呉羽業務株式会社に改める
1977年 3月	福島県産業廃棄物収集・運搬業・処分業許可取得
1984年 7月	社名を呉羽環境株式会社に改める
1986年 10月	7号焼却炉 自社開発により設置、稼働
1993年 5月	8号焼却炉 自社開発により設置、稼働
1998年 3月	ISO14001認証取得
1998年 4月	7号焼却炉 自社開発により更新
2006年 4月	社名を株式会社クレハ環境に改める
2006年 6月	資本金を2億4000万円に増資
2010年 4月	かながわ事業所を開設
2011年 4月	川崎物流センターを開設
2012年 4月	環境ソリューション事業部を開設
2014年 4月	ウェステックパークをウェステックいわきに、 かながわ事業所をウェステックかながわに改める
2017年 3月	ISO9001認証取得

営業に関するお問い合わせ

廃棄物に関するお問い合わせ

営 業 本 部 TEL 0246-63-1331
FAX 0246-63-1332

エンジニアリングに関するお問い合わせ

環境営業部 TEL 0246-63-1358
FAX 0246-63-1359

本RC報告書2017は、ウェブサイトでも公開しております。
<http://www.kurekan.co.jp/information/>

MEMO



いこいの広場



展示コーナー

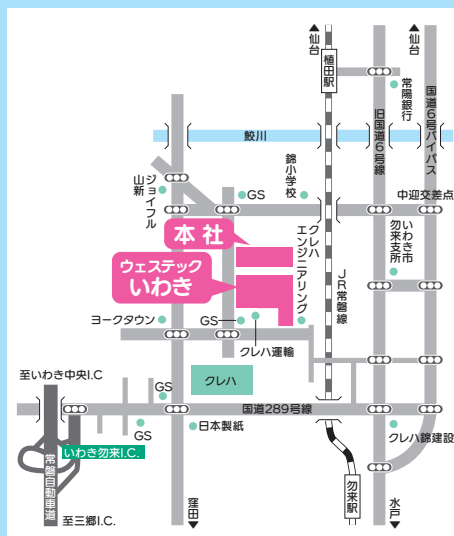


地域交流ホール



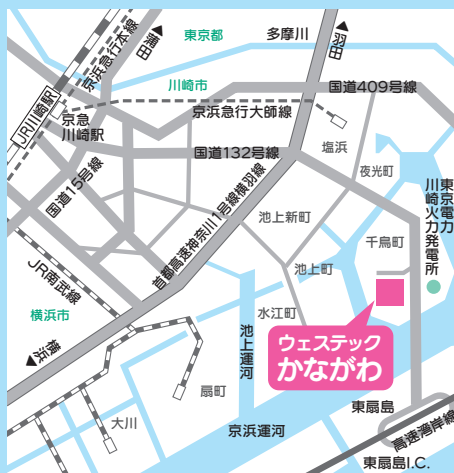
本 社

所在地：福島県いわき市錦町四反田30番地



ウェステックかながわ

所在地：神奈川県川崎市川崎区千鳥町6番1号



株式会社クレハ環境

福島県いわき市錦町四反田30番地
<http://www.kurekan.co.jp/>

◆お問い合わせ先◆

RC本部 TEL. 0246-63-1231
 FAX. 0246-63-1232

Fontworks
 UDFont



読みやすい、フォント
 ワークスUD (ユニバー
 サルデザイン) フォン
 トを本文に使用してい
 ます。

植物油溶剤のインキを
 使用しています。

●この印刷物は、「FSC認証紙」を使用しています。

2017年9月発行